

◆ 会社情報 Corporate Data

会社概要 (2026年3月31日現在)

名称	加藤産業株式会社
設立	1947年(昭和22年)8月22日
本社	兵庫県西宮市松原町9番20号
事業内容	総合食品卸売業、カンピー商品販売元
資本金	59億3,405万円
従業員数	1,142名

取締役・監査役及び執行役員 (2026年4月6日現在)

取締役	代表取締役	加藤 和 弥	社外取締役	八十川 祐 輔
	取締役	中村 考 直	社外取締役	海 保 理 子
	取締役	次家 成 典	社外取締役	青 木 英 彦
	取締役	大西 高 司		

監査役	常勤監査役	池村 昌 人	社外監査役	山村 幸 治
	常勤監査役	呉 田 祐 次	社外監査役	中村 明日香

執行役員	社長執行役員	加藤 和 弥	執行役員	明石 誠
	専務執行役員	中村 考 直	執行役員	和田 陽 一
	専務執行役員	菅 公 博	執行役員	井原 太 郎
	常務執行役員	打田 雅 俊	執行役員	合田 恭 典
	常務執行役員	次家 成 典	執行役員	矢部 章 一
	常務執行役員	大西 高 司	執行役員	白石 宗 太 郎
	上席執行役員	松村 努	執行役員	井関 信 平
	上席執行役員	高瀬 健 治	執行役員	高谷 賢 志
	上席執行役員	田中 英 治	執行役員	上野 博 司
	上席執行役員	中川 吉 明	執行役員	矢澤 雄 一

主要グループ会社 (2026年3月31日現在)

事業内容	会社名
国内	低 温 ○ケイ低温フーズ株式会社
	酒 類 ○三陽物産株式会社 ○ヤタニ酒販株式会社
	菓 子 ○加藤菓子ホールディングス株式会社 ○株式会社植嶋
	マレーシア ○Kato Sangyo Malaysia Sdn. Bhd. ○Lein Hing Holdings Sdn. Bhd. ○Merison (M) Sdn. Bhd.
	シンガポール ○Teo Soon Seng Pte. Ltd. ○Naspac Marketing Pte. Ltd.
海外	ベトナム ○Nam Khai Phu Service Trading Production Co., Ltd. ○Song Ma Retail Co., Ltd. ○Toan Gia Hiep Phuoc Trading Co., Ltd. ○Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.
	中 国 ○上海加産貿易有限公司 △深圳華新創展商貿有限公司
	物 流 ○マンナ運輸株式会社 ○カトーロジスティクス株式会社
メーカ	○株式会社グリーンウッドファクトリー ○和歌山産業株式会社
外 食	○株式会社アドバンス・キッチン

○=連結子会社、○=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社

◆ 株式情報 (2026年3月31日現在) Stock Information

株式の状況

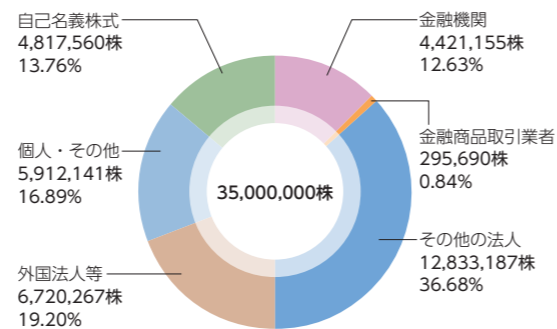
発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	35,000,000株
株 主 数	7,902名(内、単元株所有者数：7,235名)

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,146	10.42
三井物産株式会社	1,500	4.96
株式会社プラスダブル	1,280	4.24
三菱商事株式会社	893	2.96
株式会社加藤興産	850	2.81
キューピー株式会社	841	2.78
ハウス食品グループ本社株式会社	838	2.77
カゴメ株式会社	731	2.42
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	680	2.25
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	679	2.25

※持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
※持株比率は小数点3位以下を切り捨てて表示し、自己株式(4,817,560株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度 10月1日～翌年9月30日
 期末配当金受領株主確定日 9月30日
 中間配当金受領株主確定日 3月31日
 定時株主総会 毎年12月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座管理機関

同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部

電話(通話料無料)0120-094-777
 電子公告の方法により行う

(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。)
 ※公告掲載URL
<https://www.katosangyo.co.jp/irinfo/>

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



<https://www.katosangyo.co.jp/>



◆ 株主の皆さまへ To Our Shareholders

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

第80期中間決算につき、その概要をご報告申し上げます。

食品流通業界におきましては、生活者の価値観や購買行動の多様化が一層進展するとともに、小売業における企業再編や規模・展開エリア拡大の動きを背景に、業態を超えた競争環境は一段と激化しております。また、生活者の所得環境は賃上げの動きがみられる一方、物価上昇等の影響により実質賃金の低下が続いており、消費マインドは慎重な姿勢が続いております。日常生活関連消費では節約志向が根強い一方で、品質や利便性、付加価値を重視する消費行動も定着しており、節約志向と価値志向の二極化が進行しております。こうしたメリハリのある消費行動が続くなかで、当社グループを取り巻く市場環境の先行きは不透明感が増しております。

このような状況に対して当社グループは、グループミッションである「豊かな食生活を提供して、人々の幸せを実現すること」を目指して、顧客のための価値創造に取り組み、生産性の向上やデジタル技術の活用を推進するとともに、組織力の強化や人材の育成・活性化を図ることで、付加価値を高める営業活動・業務活動を進めてまいりました。

海外事業につきましては、今後の当社グループの成長戦略の一つとして位置づけ、マレーシア・ベトナム・シンガポール・中国国内での食品等卸売事業の展開を図っております。そのうえで、既存の海外卸売業としてのベースに加え、日本国内で培って

きた営業力の浸透及び経営管理の定着と、各国でのプロモーションの強化、取扱いブランド及びコスト構造の見直しに取り組むとともに、利益体質への転換を図ってまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における営業収益は、既存得意先を中心とした取引の増大により、前年同期に比べて2.7%増加して6,269億21百万円となり、営業利益は104億51百万円(前年同期比3.0%増)、経常利益は116億39百万円(前年同期比5.4%増)となりました。そして、親会社株主に帰属する中間純利益は、政策保有株式の売却に伴う投資有価証券売却益等を計上したこともあり、前年同期に比べて22.9%増加の89億15百万円となりました。

なお、中間配当金は、1株につき80円とさせていただきます。また、2026年9月期末につきましては、1株につき80円を予定しており、年間配当予想は160円となります。

通期の見通しにつきましては、食料品や日用品等の生活必需品の価格上昇による消費支出へのさらなる圧迫や、中東情勢を背景とする物流費等のコストアップ要素の影響、国内の経済・金融政策の動向等、市場環境の不確実性は一段と高まっております。引き続き、第80期計画の達成に向けてまい進いたします。

株主の皆さまにおかれましては、時節柄くれぐれもご自愛いただきますとともに、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

証券コード：9869

◆ 第80期 中間期報告書 ◆

2025年10月1日から2026年3月31日まで



2026年6月

代表取締役社長執行役員 加藤 和弥

第80期中間期連結決算ハイライト

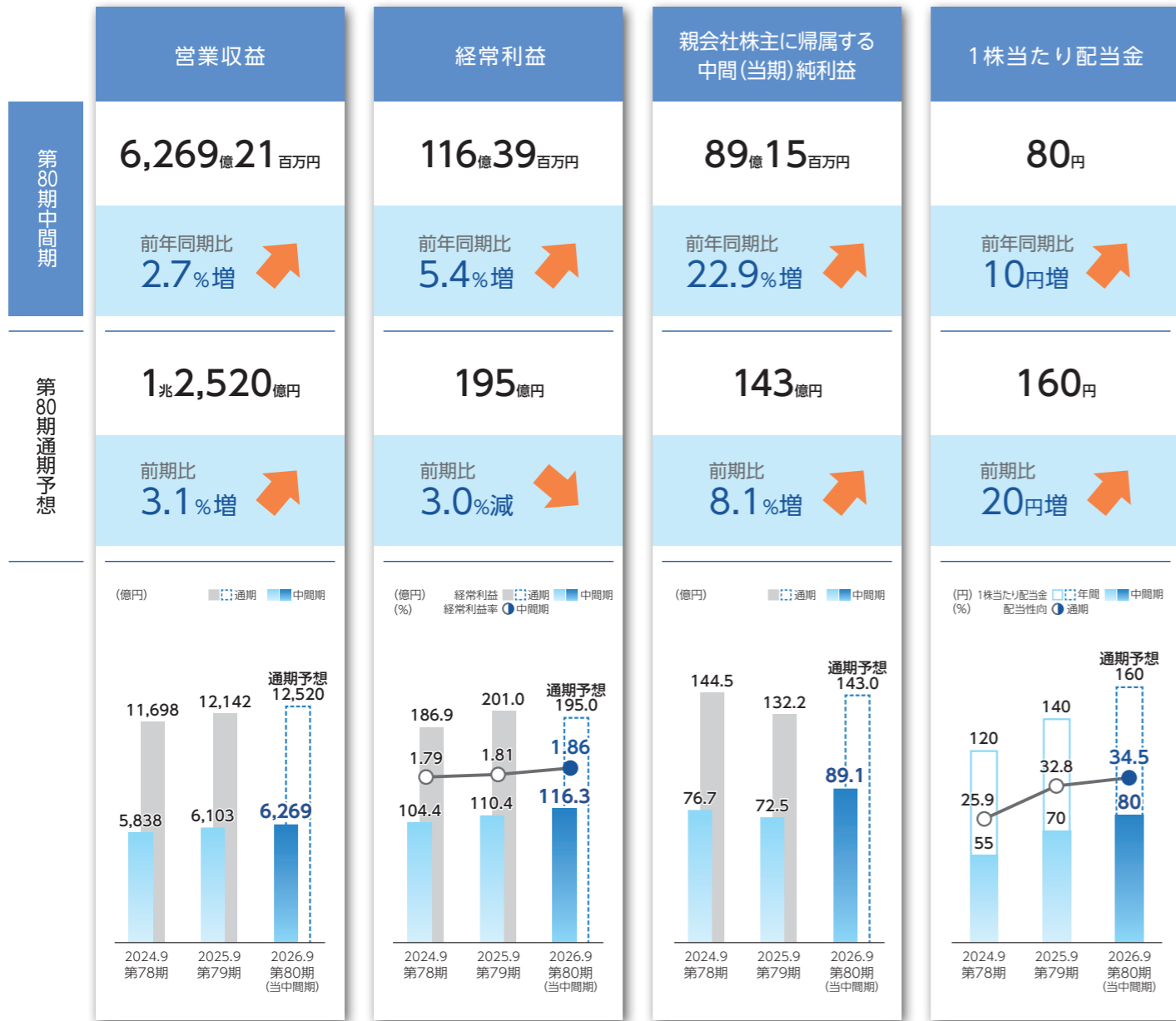
Consolidated Financial Highlights

詳細は、当社ホームページに掲載されている「株主・投資家情報」をご覧ください。

<https://www.katosangyo.co.jp/irinfo/>



既存得意先を中心とした取引の増大により増収となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、政策保有株式の売却に伴う投資有価証券売却益等を計上したこともあり、増益となりました。



ニュース クローズアップ News Close-Up

当社の取組み・詳細情報については当社ホームページをご覧ください。

<https://www.katosangyo.co.jp/>



「カンピー」ブランド誕生70周年



自社ブランド「カンピー」は、1956年の販売開始以来、「毎日の食卓に寄り添う」存在として、生活者の皆さまや小売さまのニーズに合った商品づくりに取り組んでまいりました。味・品質・パッケージにまでこだわり、長年にわたり多くの方々からご支持をいただいております。70周年を迎えるにあたり、これまでのご愛顧への感謝の気持ちを込め、プレゼントキャンペーン等の企画を実施いたします。今後も「食卓を豊かにし、笑顔と幸せを届ける」ブランドとして、皆さまに寄り添い続けてまいります。

Kanpy 食卓を、もっと豊かに。

発売以来、世代を超えて愛され続けるカンピーのロングセラー商品が、数多く誕生しています。

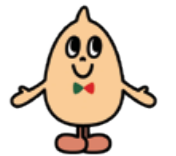
特設サイト開設

70周年にかける想いやこれまでの歩み、各キャンペーンの情報を発信中！



パインアップル K3号缶 カンピージャム 有明海産 卓上味のり

公式キャラクター



カンピーちゃん

湘南センター 稼働

当社は、中長期的な成長基盤の強化及び物流効率の向上を目的として、物流投資計画を推進しております。その一環として、南関東エリアの既存の賃借倉庫3拠点を統合し、2026年2月に当社最大規模の自社物流拠点「湘南センター」の稼働を開始いたしました。今後、広い屋根面を活用した太陽光発電設備を第三者資本によるスキーム(PPA)で導入し、初期投資を抑えつつ再生可能エネルギーの導入を進める予定です。



▲湘南センター(神奈川県海老名市)

また、今後3年間(2026~2028年度)で約400億円の設備投資を計画しており、そのうち約300億円を物流分野に充当する見込みです。人口減少が進むなかでも安定的な需要が期待できる関東・中部・関西・九州の主要都市圏を中心に、自社倉庫の新設を段階的に進め、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

主要な事業の概況

Segment Review

	常温流通事業	低温流通事業	酒類流通事業	海外事業
営業収益	3,811億4百万円 (前年同期比3.3%増加)	602億38百万円 (前年同期比3.2%増加)	1,344億73百万円 (前年同期比2.2%増加)	489億75百万円 (前年同期比0.5%減少)
営業利益	80億5百万円 (前年同期比2.4%増加)	8億51百万円 (前年同期比13.9%増加)	10億47百万円 (前年同期比7.1%減少)	1億61百万円 (前年同期比1億49百万円増加)

※営業収益及び営業利益には、各事業間の内部取引を含めております。
※営業利益は、のれん償却費等を含んでおります。